



たてやま議会だより



●平成27年6月号 ●No.109 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp

18議席決定!



議会の体制も決まる!

任期満了に伴う市議会議員選挙は、4月26日に行われ、18人の議員が選出されました。
5月14日には、第1回臨時会が開かれ、下表のとおり議会の構成が決定しました。

議会の構成

議長 榎本 祐三 副議長 本多 成年

総務委員会 6人 (◎委員長、○副委員長)

◎石井 敬之 ○石井 敏宏 室 厚美
望月 昇 福岡 信治 吉田 恵年

建設経済委員会 6人

◎石井 信重 ○内藤 欽次 瀬能 孝夫
今井 義明 榎本 祐三 本橋 亮一

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員 1人

福岡 信治

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員 2人

榎本 祐三 本橋 亮一

監査委員 (議会選出) 1人

本橋 亮一

文教民生委員会 6人

◎龍崎 滋 ○森 正一 太田 浩
本多 成年 鈴木 正一 鈴木 順子

議会運営委員会 9人

◎鈴木 正一 ○鈴木 順子 石井 敏宏
瀬能 孝夫 石井 敬之 太田 浩
今井 義明 石井 信重 本橋 亮一

三芳水道企業団議会議員 5人

望月 昇 石井 敬之 太田 浩
石井 信重 内藤 欽次

新しい館山市議会の顔ぶれ

新人議員1名を含む18名体制で始動

議員紹介(50音順) ①住所 ②党派 ③当選回数 ④職業
⑤年齢(平成27年5月1日現在)



石井 信重
(いしい のぶしげ)

①那古510-1②無所属
③3回④会社役員⑤45歳



石井 敏宏
(いしい としひろ)

①上真倉320-2②無所属
③2回④無職⑤43歳



石井 敬之
(いしい たかゆき)

①湊253-1②無所属
③2回④無職⑤59歳



太田 浩
(おおた こう)

①塩見244②無所属
③2回④無職⑤59歳



榎本 祐三
(えのもと ゆうそう)

①笠名1501②無所属
③4回④無職⑤69歳



今井 義明
(いまい よしあき)

①二子118②無所属
③2回④自営業⑤70歳



瀬能 孝夫
(せのう たかお)

①佐野2080-5②公明党
③2回④無職⑤57歳



鈴木 正一
(すずき しょういち)

①神余1490②無所属
③3回④農業⑤64歳



鈴木 順子
(すずき じゅんこ)

①下真倉227-40②社会民主党
③7回④政党役員⑤65歳



本多成年
(ほんだ なるとし)

①湊485-1②無所属
③3回④会社員⑤58歳



福岡信治
(ふくおか しんじ)

①上野原344②無所属
③5回④無職⑤65歳



内藤欽次
(ないとう きんじ)

①八幡291②日本共産党
③3回④無職⑤73歳



本橋亮一
(もとはし りょういち)

①長須賀299②無所属
③6回④会社役員⑤63歳



望月昇
(もちづき のぼる)

①北条2010②無所属
③2回④会社員⑤57歳



室厚美
(むろ あつみ)

①波左間475-1②無所属
③1回④介護パート⑤49歳



龍崎 滋
(りゅうざき しげる)

①広瀬755②公明党
③2回④農業⑤61歳



吉田恵年
(よしだ けいねん)

①館山1240②無所属
③5回④無職⑤74歳



森 正一
(もり しょういち)

①八幡277-19②無所属
③2回④学習塾経営⑤47歳

●議長

榎本 祐三

●副議長

本多 成年

◆就任に当たって

改選後の正副議長の職を私たちが務めることとなりました。

昨年、国では「人口減少・少子高齢化」を克服し、活力ある社会を実現するため、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、それに基づく総合戦略を策定しました。

館山市でも、人口減少と少子高齢化は深刻な問題であり、現在策定中の第4期総合計画の中でも、その対策が盛り込まれていく予定です。

私たちが市議会としても執行部とともに、館山市が抱える課題に対して的確に対応し、市民に信頼される議会にしていきたいと考えております。

そして、館山市の発展のため、館山市民の福祉の向上のため、先に市議会が制定した、「館山市議会基本条例」を規範として、議論し、納得し、そして市民に説明していく議会としていきたいと考えておりますので、皆様のご支援、御協力をよろしくお願いいたします。

平成27年3月定例市議会 平成27年度館山市各会計予算 館山市いじめ防止対策推進条例などを議決

任期最後の定例会となる3月定例市議会は、2月26日から3月23日までの会期26日間にわたって開かれ、市長から提案された35議案、議会から提出された2議案が原案どおり可決されました。

3月定例会に提案された
主な議案と委員会の審査
内容を紹介します。

会議初日(2月26日)は、会期を26日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

3月2日及び3日は、11人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをたどりました。

3月6日は、新年度予算を除く各議案について質疑を行い、その後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

3月10日は、新年度予算に対する質疑を行い、その後、所管の委員会に審査を付託しました。

最終日(3月23日)は、各委員会の委員長が、委員会での議案等審査の経過及び結果を報告した後、質疑、討論、採決を

行いました。
続いて追加議案の審議及び委員会提出の2件の議案の審査を行い、閉会しました。

議案第1号〜議案第5号
平成27年度館山市一般会計予算及び4特別会計予算Ⅱ左表

平成27年度一般会計・特別会計予算

会計名	本年度予算	対前年増減率	
一般会計	189億7500万0千円	6.3%	
特別会計	国民健康保険	77億5541万7千円	9.7%
	後期高齢者医療	6億2410万3千円	0.2%
	介護保険	53億8824万8千円	3.9%
	下水道事業	10億3969万5千円	24.8%
合計	337億8246万3千円	7.0%	

予算審査特別委員会の審査 (委員長 福岡信治議員)

平成27年度一般会計及び4特別会計予算の審査に当たり、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

委員は次のとおりです。

(◎委員長、○副委員長)

- ◎福岡 信治 ○本多 成年
- 石井 敏宏 望月 昇
- 石井 敬之 龍崎 滋
- 鈴木 正一 内藤 欽次
- 秋山 貴

第三者委員会運営事業に関して、規則の制定及び委員の選定の進捗状況はどうか、と聞いたところ、現在遺族と協議中である、との説明がありました。

母子・父子自立支援給付金について看護師・介護福祉士などの資格取得を支援するとあるが、医療、福祉関係以外の資格取得に対する支援はないのか、と聞いたところ、対象資格として医療、福祉関係を指定している、との説明がありました。

浄化槽設置事業補助金の平成26年度の交付状況について聞いたところ、現在25基の交付決定をしている、との説明がありました。

食のまちづくり推進事業を里山の整備、稲村城跡の保存と歩調を合わせる考えはあるのか、と聞いたところ、旧公設地方卸売市場用地等の3つの拠点を結び付け相互に連携した拠点とする構想はあるが、まずは食のまちづくりの拠点を確保していきたい、との説明がありました。

企業立地奨励金について聞いたところ、対象となる者は3社が予定されている、との説明がありました。

客船の寄港による経済効果について聞いたところ、例えば8月8日の館山湾花火大会へのつぼん丸の寄港は常に満船で、オプショナルツアーなどかなりの需要を喚起している、との説明がありました。

遠距離通学児童生徒通学費補助金について、市長公約である無料化は、いつごろ実施するのか聞いたところ、現在検討中ではあるが、房南地区小中一貫校の開設を見据えた中で対応ができればと考えている、との説明がありました。

国民健康保険特別会計について、徴収対策事務に関して、徴収率の向上への成果について聞いたところ、現年度の徴収率は、平成24年度が91・04パーセント、平成25年度が92・4パーセントである、との説明がありました。

介護保険特別会計について、

地域包括ケアシステムの構築について聞いたところ、介護保険法の改正による地域支援事業の充実項目として在宅医療・介護連携、地域ケア会議の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備の4つの事業があるが、各事業の検討会などのための報償費、研修会のための旅費及び負担金等である、との説明がありました。

下水道事業特別会計について、歳入について、分担金及び負担金が前年度予算額より884万5千円減額となった理由について聞いたところ、供用面積と、そこに関わる人数の違いによるものである、との説明がありました。

議案第6号 館山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定についてⅡ関係法令に基づき、任期を定めた採用に関して必要な事項を定めるもの。

総務委員会の審査

(委員長 太田 浩議員)

任期付職員として採用を予定している危機管理監の任期と、どのような者を予定しているのかと聞いたところ、まず2年の任期で採用して、更新については、勤務成績によって決定したい、また自衛隊幹部OBの

者を予定している、との説明がありました。

議案第7号 館山市行政手続条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ関係法令の施行に伴い、処分等の求め及び行政指導の中止等の求めの手續きについて、条例で定めるもの。

総務委員会の審査

この改正でどのように変わるのかと聞いたところ、行政指導が法律の要件に適合しないとと思う場合、行政に中止等を求めることができ、また、法律違反をしている事実を発見した場合、行政に対し是正のための処分等を求めることができるものである、との説明がありました。

議案第8号 館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定についてⅡ千葉県人事委員会の勧告に準じ、館山市職員の給与改定を実施しようとするもの。

総務委員会の審査

期末手当の改正は特別職報酬等審議会に諮問しなくてよいのか、また、特別職報酬等審議会の報酬等の等には何が含まれるのかと聞いたところ、期末手当は諮問の対象ではない、報酬等の等には市長、副市長の給料、議員の議員報酬が含まれ

る、との説明がありました。

議案第9号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ身体障害者等に対する軽自動車税の減免の手續きについて、簡略化する規定を定めようとするもの。

議案第11号 館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ平成27年度から平成29年度までの第1号被保険者の保険料率等の改正。

文教民生委員会の審査
(委員長 瀬能孝夫議員)
基準月額料金の改定状況を聞いたところ、平成27年度から5680円になるとの説明がありました。

低所得者への保険料軽減を聞いたところ、国が低所得者対策を強化していく予定であり、館山市もそれに合わせて対応していく、との説明がありました。

議案第12号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定についてⅡ関係法令の改正に伴う条例の改正。

文教民生委員会の審査
教育長に一本化されることで、負担が増加すると思うが、

従来の教育委員会委員長職務代理者のような者を、新しい教育長には置かないか聞いたところ、委員の中から代理者が選任されることとなるが、教育委員会事務局の指揮監督者という部分については、教育委員会次長などが委任されるものと考えられる、との説明がありました。

議案第13号 館山市教育長の勤務時間、休日、休暇及び職務専念義務の特例に関する条例の制定についてⅡ関係法令の改正に伴い館山市教育長の勤務時間等について必要な事項を定めるもの。

議案第14号 館山市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ平成29年度から予定している、房南地区小中一貫校の開設に伴う小学校の改廃。



廃校となる富崎小学校

議案第15号 館山市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ関係法令の施行による利用者負担の規定や北条幼稚園の建て替えに伴う位置の変更等に伴う所要の改正等。

文教民生委員会の審査
富崎小学校が休校から廃校になるということについて、説明と理解は十分得られているか聞いたところ、地元を含めた了解をいただいているものと考えている、との説明がありました。

議案第16号 館山市いじめ防止対策推進条例の制定についてⅡいじめ防止対策推進法の施行に伴う条例の制定。

文教民生委員会の審査
保育料の徴収方法について聞いたところ、口座振替で納付していただいている、との説明がありました。

また、滞納の状況について聞いたところ、滞納は若干あり、その解消に向けて努力している、との説明がありました。

議案第17号 館山市立子ども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ関係法令の一部改正等に伴う所要の改正。

得たり、学校と連携しながら、いじめ問題について解決するというものである、との説明がありました。

議案第18号 館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ関係法令の一部改正等により、新たに利用者負担を規定することや保育所の入所資格を定めるなどの所要の改正。

文教民生委員会の審査
保育士の勤務体制について聞いたところ、保育士の確保が難しいため、保育助手を雇用して補う予定である、との説明がありました。

また、保育士ではなく保育助手で対応するというやりかたはあまり望ましくないと思うが、今後はどうするのか聞いたところ、今後、保育士で対応できる体制が取れるようにしていきたい、との説明がありました。

議案第19号 館山市心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について

Ⅱ千葉県の重度心身障害者児医療給付改善事業費補助金交付要綱の改正に伴う条例の一部改正。

議案第20号 館山市看護師等修学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について
Ⅱ関係法令の改正に伴う所要の改正。

議案第23号 館山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
Ⅱ関係法令の改正による条例の一部改正。

文教民生委員会の審査
介護職につく人が少なく、なかなか運営ができない事業所があると聞いたが、実態を把握しているか聞いたところ、把握していない、との説明がありました。

委員から、これから小規模な事業所が増えていかざるを得ない状況の中で、こういった実態があると聞いているので、行政として、きちんと目を向けていっていただきたい、という意見がありました。

議案第24号 市道路線の認定についてⅡ市道7053号線を認定するもの。

建設経済委員会の審査
(委員長 望月 昇議員)
この路線を市道に認定する理由について聞いたところ、県道から市道7025号線を結び、当地域の幹線道路として利用しているためである、との説明がありました。

議案第25号 安房南部区域農用地総合整備事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ地方税法の改正に準じた負担金の延滞金の利率の見直しを行うもの。

議案第26号 館山市小規模埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ市の許可案件である3000平方メートル未満の埋め立て及び一時たい積について、安全性の確保をより強化するため、所要の改正をするもの。

建設経済委員会の審査
なぜ、3000平方メートル以上の埋め立てが市独自の改正条例に含まれなかったのか聞いたところ、土壌の安全性の強化と事業者の申請資格の制限について最も早く着手すべ

きだと判断した、との説明がありました。

自分の市は自分で守るというのが基本ではないかと聞いたところ、今やれる身近なもので、大規模事業については国の法律、県の条例で一律に規制してもらえよう働きかけている、との説明がありました。

隣接地権者の同意については、今のうちに事業者に対して強く進めておかないと、後々の懸案事項になるのではないかと聞いたところ、申請時の行政指導ということで提出を求めており、今後も行っていく、との説明がありました。

議案第27号 平成26年度館山市一般会計補正予算(第10号) Ⅱ歳入歳出それぞれ1億2794万4千円を減額し、総額185億1741万4千円としようとするもの。

議案第28号 平成26年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) Ⅱ歳入歳出それぞれ70万円を追加し、総額72億5213万6千円としようとするもの。

議案第29号 平成26年度館山市後期高齢者医療特別会計

補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ190万4千円を減額し、総額6億3475万5千円としようとするもの。

議案第30号 平成26年度館山市介護保険特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ17万1千円を減額し、総額54億132万2千円としようとするもの。

議案第31号 平成26年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ3225万7千円を減額し、総額8億203万円としようとするもの。

建設経済委員会の審査
下水道事業水質検査等委託料について、第2期工事は終了したのかと聞いたところ、平成28年度までである、との説明がありました。

議案第32号 平成26年度館山市一般会計補正予算(第11号) Ⅱ歳入歳出それぞれ2億158万2千円を追加し、総額187億1899万6千円としようとするもの。

総務委員会の審査
食のまちづくり推進事業に關して、新たな加工品の商品化の内容について聞いたところ、

食のまちづくり計画の具体化を検討する中で決定していきたい、との説明がありました。

議案第33号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ関係法令の一部改正に伴う条文の整理。

議案第34号 人権擁護委員候補者の推薦についてⅡ人権擁護委員法の規定により、引き続き平野明文さんをお願いするもの。

議案第35号 人権擁護委員候補者の推薦についてⅡ人権擁護委員法の規定により、新たに齋藤由美さんをお願いするもの。

【議会提案議案】
発議案第1号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ一般職職員の給与と改定及び市長等の給与と改定を併せて改正しようとするもの。

発議案第2号 館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ関係法令の一部改正により委員会条例の改正が必要になったことによる改正。

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、3月2日と3日の2日間にわたり、次の11名の議員が行いました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

	石井 敏宏 ①雇用のミスマッチ(将来的に続くのか、 解消する手立て) ②安房広域のごみ処理場計画に関して館山市の見解(安房広域の計画は過大か、計画の情報公開や周知、 ごみの減量化) ③ふるさと納税 ④市職員の人事(人事異動の方針、非正規職員の雇用契約)
	内藤 欽次 ①国の補正予算「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の活用(活用方法 、市内循環バス、若者雇用対策・定住促進対策への活用) ②生活道路(私道)の整備補助(資材補助がなくなった理由、資材補助の復活) ③都市計画税(いつからどのような目的で、 現在の使途)
	森 正一 ①子育て支援(子ども医療費助成範囲の拡大 、季節性インフルエンザ予防接種費用の助成、産後ケア事業、「館山市子ども・子育て支援事業計画策定のためのワークショップ」における意見への対応状況) ②スポーツ観光・スポーツ振興等(東京オリンピックの事前キャンプ誘致、スポーツや文化の振興を図るための助成) ③いじめ問題(いじめの認知状況及び対応状況、 いじめ撲滅へ向けた取り組み)
	鈴木 順子 ① 子どもを産み育てる環境づくり ②館山市高齢者見守りネット ③地域包括支援のあり方 ④障がい者自立支援での社会参加 ⑤生活困窮者への自立支援 ⑥安心・安全なまちづくり(避難場所の整備、小中学校体育館等のトイレの状況) ⑦ 水上バイク対策としての条例制定 ⑧市役所非常勤職員への交通費支給
	本多 成年 ①介護保険制度改革(介護報酬引き下げの影響 、高齢者の社会参加活動) ②まち・ひと・仕事創生法成立後の具体的な施策(具体的な地域の課題 、地方版総合戦略の策定、効果の検証)
	龍崎 滋 ①地方創生交付金制度の創設に伴う市の施策(活用と効果、地方創生の施策) ②館山の海の資源の活用と保全(漁獲量の減少対策、 事業者による連携や協働) ③イノシシ対策(今後の対策、 人的被害防止の取り組み)
	榎本 祐三 ① 地方版総合戦略の策定 ②館山市情報公開条例の運用(手数料が高額な理由、条例改正の理由、全国情報公開度調査結果) ③沖ノ島等の駐車場の有料化(本年の対応 、海岸通り駐車場の有料化)
	太田 浩 ①青柳大賀線の一部先行取得(先行取得の経緯 、メリットとデメリット、今後の方針) ②市内道路の安全対策の整備状況(改善要望箇所の状況、整備未了の場所の問題点、新たな安全調査等の実施、今後の整備計画) ③ ミュージアムショップ跡地の今後の活用
	望月 昇 ①プレミアム商品券の経済効果(実施時期、 前回との違い 、地元商店街へのメリット) ②空き地・空き家の有効活用(対策会議の検討結果、 有効活用と税制面の問題点)
	鈴木 正一 ①館山市の特性を生かした取り組み(地方創生の取り組み、スポーツ観光、人口減に伴う空き家対策) ②農業振興(たてやま食のまちづくり計画の現況 、 担い手の促進 、地域おこし協力隊、有害鳥獣対策)
	瀬能 孝夫 ①地方創生(長期ビジョンの現段階での検討、「地方における安定した雇用」に対する考え、「地方への新しい人の流れを作る」についての対応、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」戦略の取り組み、) ②高齢者対策・地域包括ケアシステム(高齢化対策モデル事業の成果と課題、 介護等に関するサービスを30分以内に受けられる環境づくり) ③ コンパクトシティの計画

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、5月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

主な質問と答弁

産業振興・観光振興

◆雇用のミスマッチについて
は？

問 雇用のミスマッチを解消する手立てを考えているのか。
(石井敏宏議員)

答 「雇用」や「企業誘致」、「移住・定住」といった課題に対しては、今年度から組織内に新たな体制を作り、これらの施策を強力に進めます。

また、昨年度はミスマッチを少しでも解消することを目的に、「ジョブサポート事業」を実施する中で、企業のプレゼンテーションや、採用面接の前に採用担当者や求職者との面談を実施することにより、企業や業務への理解をより深める機会を設けることにも努めてきました。

さらに、昨年11月には、千葉県の外郭団体である「ジョブカフェちば」及び近隣市町と共催し、職場訪問を通じて、採用担当者や先輩社員から生の声を聞いて、職場の雰囲気に触れるといった取り組みも実施しました。

◆館山市の海の資源の活用と
保全は？

問 海にかかわる事業者による連携や協議による、今後の海の資源の活用等の対応について問う。
(龍崎 滋議員)

答 海の資源や漁場を守る役割については、主に漁業協同組合が担うこととなりますので、市内の組合同士が連携・協議して対応に当たることが、非常に重要であると考えています。

市内5つの組合でもその必要性から「館山市漁協合併研究会」を立ち上げ、漁協合併の研究を進めていますので、館山市も事務局として、引き続き支援していきます。

◆被害の拡大するイノシシ対策は？

問 今後どのような対策を取っていくのか。
(龍崎 滋議員)

答 イノシシ等の捕獲事業や箱ワナなどの捕獲器具の貸し出しと狩猟免許取得のための経費の助成及び防護柵の設置に対する支援などを今後も

継続して実施していきます。

また現在、神余地区で農家組合を中心に、イノシシの活動状況の調査把握や効果的なワナの設置について、協議しながら共同で実施している取り組みについて、その効果を検証しながら、他の集落にも広げていきたいと考えています。

◆沖ノ島の駐車場の有料化は？

問 沖ノ島の駐車場について、昨年は有料化されなかった。今年はどうするのか。
(榎本祐三議員)

答 沖ノ島の環境保全を目的として、昨年度に、協力金の徴収を計画しました。しかしながら、解決すべき課題の調整などに時間を要するため、昨年夏の協力金の徴収は、見送りとなった経緯があります。

今後も、早い時期の実現を目指し、関係省庁との協議を進めていきます。

◆渚の博物館内のミュージアムショップ跡地の活用は？

問 「渚の駅たてやま」商業施設と併せた、有効的な活用について問う。
(太田浩議員)

用について問う。

答 現在、その場所は空き空間となつています。

今後、「渚の駅たてやま」ならではの体験ができる特別な空間づくりを考えており、市民ギャラリーとしての利活用や、館山おさかな大使の「さかなクン」に関連するイラスト等の常設展示に向け、現在、関係者等と調整を図っているところです。



ミュージアムショップ跡地の状況

◆地方創生の推進の一つとして「プレミアム商品券」の経済効果は？

問 前回と違う内容はあるのか。
(望月 昇議員)

答 大きく違う点は、回復の遅れる地方の消費喚起を目的とし、国及び県の交付金に

より実施することです。

この趣旨から、より広く、また多くの方に消費していただきたいという点で、前回実施時は、プレミアム率10パーセントで発行金額の総額も1億1000万円でしたが、今回はプレミアム率を20パーセントとし、発行総額も3億6000万円とこれまでにない規模での実施を予定しています。

◆農業振興については？

問 たてやま食のまちづくり計画の現況について問う。
(鈴木正一議員)

答 既に策定は完了しており、今後は同計画を市民に周知するとともに、今年度から計画に基づいた事業実施について具体的な検討を行っていきます。

具体的には、軽トラ市などの地産地消イベントを実施し、1次産業の拠点とすべく気運の醸成を図っていくとともに、農水産物の加工品開発や流通事業にも着手し、取り組みの拠点となる施設の配置や整備手法を決定していきたく考えています。



食のまちづくり拠点施設の現況

問 担い手育成の促進について問う。(鈴木正一議員)

答 食のまちづくりの拠点施設においては、市民農園における市民農業塾を開設し、若者をはじめ、移住者や定年リタイア層など、これからの農業の担い手を育成する場とすることも考えています。

併せて、これまで推進してきた地産地消事業に加え、地域の需要に応じて農産物を生産する、いわゆる「地産地消」を進めるために、この拠点での育成だけでなく、市内の遊休農地の借り上げによる本格的農業にも取り組ませることで、生産力を強化し、安定的な地域食糧の供給体制をつくることを考えています。

ごみ問題・環境対策

◆館山市内のごみ処理の現状は？

問 館山市において、ごみの減量化は進んでいるのか。

(石井敏宏議員)

答 資源ごみの分別や環境教育の推進等により、館山市のごみの総排出量は、ピーク時であった平成12年度の2万8888トンから、平成25年度は、2万1214トンになり、26パーセント減少しています。

◆水上バイクの対策は？

問 水上バイク対策として条例制定も視野に検討すると聞くが詳細を問う。

(鈴木順子議員)

答 近年、海水浴場開設期間中において、水上オートバイが増加しており、一部の愛好者による危険行為や事故の発生などの状況が見受けられています。そこで、海岸管理者である千葉県をはじめ、取締り権限を有する海上保安部や警察署などの関係行政機関を交えて対策を検討することを目的とした「安心・安全に館山の海を楽しむための会

議」を設置しました。

この会議においては、水上オートバイの危険航行のほかにも、海水浴場で問題となっている砂浜や駐車場におけるパーベキュー、ごみの放置など利用者のマナー低下や観光立市を標榜する館山市としてイメージダウンにつながるという、指導の根拠となる条例の制定も視野に入れ協議を進めています。

都市計画・道路計画

◆都市計画税の目的は？

問 都市計画税はいつから、どのような目的で徴収するようになったのか。

(内藤欽次議員)

答 昭和31年度から、地方税法の規定により、都市計画法に基づいて行う都市計画法に要する費用に充てることを目的に創設されました。

◆青柳大賀線の用地の一部先行取得は？

問 どのような経緯で一部先行取得したのか。

(太田 浩議員)

答 この土地は、都市計画

決定された青柳大賀線の区域内にあり、民間事業者が宅地開発を計画しようとした土地です。

この宅地開発に伴う宅地化や建物の建築が進むと、今後の事業用地の取得が著しく不利または困難になると判断したため、館山市が土地所有者に対して買い取りの協議を行い、土地の取得を行ったところ。

◆空き地・空き家の有効活用については？

問 市が空き地を有効活用した場合の税制面はどうなるのか。(望月 昇議員)

答 館山市がその土地を無償で借り上げ、かつその土地を公共の用に供する場合は、固定資産税・都市計画税が非課税になります。

◆コンパクトシティの計画は？

問 従来のマスタープランで示された都市計画との関係も含め、将来の都市計画の考えを問う。(瀬能孝夫議員)

答 館山市の今後の都市づくりの方向として「今ある都市、今ある暮らし」の維持を

根底に、持続可能な集約型都市構造の形成を図り、市街地や各集落における都市機能の質の向上と必要な都市基盤の充実等によって地域コミュニティの維持・増進を図ることが必要であると考えています。

また、公共交通機能等による市街地と各集落間との連携を強化していくことも重要であると認識しています。

教育問題・少子化対策

◆子ども医療費の助成範囲の拡大は？

問 子ども医療費の助成範囲を入院院とも中学3年生まで、早急に拡大していただきたい。(森 正一議員)

答 昨年8月から入院医療費の助成対象を小学校6年生まで拡大し、保護者の経済的な負担の軽減に努めました。

現在、入院医療費の助成は、中学校3年生まで行っていますが、通院医療費の助成についても、財政状況を勘案しながら検討していきたいと考えています。

◆いじめ撲滅に向けた取り組みは？

問 今後のいじめ撲滅に向けた取り組みについて問う。

(森 正一議員)

答 学校では、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努めています。

今回制定された館山市いじめ防止対策推進条例においても、「館山市いじめ防止基本方針」に関する規定を盛り込んであります。

今後、パブリックコメントの実施を経て、館山市の基本方針を策定する予定です。

策定済みの「学校いじめ防止基本方針」についても、館山市の基本方針の内容によつては、見直しを行う予定です。

また、今後の取り組みについては、これまで行っている心理検査等を継続するほか、基本方針に基づき、対策を充実させていきます。

◆子どもを産み、育てる環境づくりは？

問 子どもを産み育てる環境づくりをどのように考えているのか。(鈴木順子議員)

答 子どもを産み、育てていくためには、出会い、結婚、出産、子育て支援や雇用環境

などに対する幅広い施策の展開が必要であると考えています。

そのためには総合的な取り組みが必要であると強く認識しているところであり、関係する部署の連携を強化し、最終的には市民から見たときに一体的な窓口になつていくというイメージを目指したいと考えています。

当面、現在の体制の連携強化を強めながら、結婚については、市民団体が行う婚活イベントの開催を支援することなどにより出会いの場の創出を引き続き図ります。

妊娠・出産については、妊娠が分かってから出産、育児の期間を通して、妊婦相談や乳児訪問などを保健師や保健推進員が行っています。また、妊婦健診なども医療機関に委託して実施するなど、引き続き、産前産後の支援の充実を図ります。

子育て支援については、本年4月からスタートする子ども・子育て支援新制度に対応して、学童クラブの公設化や公立保育園等の預かり時間を30分延長するなど、子育て世代の女性が就労を続けること

ができるような環境を更に整備していくほか、「病児・病後児保育事業」や「ファミリー・サポート・センター事業」などの事業を引き続き展開し、保護者の子育てと就労等の両立を支援しています。



元気な広場で遊ぶ幼児

健康福祉・高齢者福祉

◆介護保険制度改革は？

問 介護報酬引き下げは介護の担い手の不足や、処遇の改善にどのような影響があると考えているのか。

(本多成年議員)

答 平成27年度介護報酬改定においては、地域包括ケアの推進等を踏まえ、全体で、マイナス2・27パーセントの改定率が示されたところです。しかし、介護人材確保対策を推進するため、介護職員処

遇改善加算が拡充され、介護職員の賃金は、月額平均1万2000円上がります。

今後、介護職員の賃金が上がることに伴い、介護の担い手不足が解消されることに期待しているところです。

◆介護サービスを受けられる環境づくりは？

問 高齢者が望む介護等に関するサービスを、約30分以内に受けられる環境づくりに関して、その現状と見通しを問う。(瀬能孝夫議員)

答 現在、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる、2025年に向けて、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムの構築に努めているところです。

また、今回の介護保険法の改正に伴い、地域包括支援ケアシステムの構築に向け、認知症施策の推進、在宅医療・介護の連携の推進、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの体制整備などを行うこととされました。

市の政策

◆国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の活用は？

問 市はどのような活用を考えているのか。

(内藤欽次議員)

答 国の補正予算「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」には、「地域消費喚起・生活支援型」と「地方創生先行型」があります。

「地域消費喚起・生活支援型」については、地域における消費喚起策やこれに直接効果を有する生活支援策に対し、国が支援するもので、市内経済の活性化を図るプレミアム付商品券発行事業や、市外からの観光宿泊客をターゲットとした観光振興商品券発行事業を予定しています。また、「地方創生先行型」については、地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策等の実施に対し、国が支援するもの

で、地方における安定した雇
用を創出する、地方への新し
い人の流れをつくる、若い世
代の結婚・出産・子育ての希
望をかなえる、時代にあつた
地域をつくり、安心なくらし
を守るとともに、地域と地域
を連携するといった国の「ま
ち・ひと・しごと創生総合戦
略」による政策分野との整合
及び現状の館山市の課題を考
慮し、移住・定住施策、イン
バウンド推進事業、地域資源
を活用した観光振興事業、子
育て支援施策、教育環境 I C
T 化事業などを予定していま
す。

◆まち・ひと・しごと創生法
成立後の具体的な施策は？
問 国の具体的な支援とし
て、情報支援、財政支援、人
的支援があると聞いた。
答 4月から地域経済分析シス
テムを整備し、地域に即した
課題の抽出に対応ができるよ
うにすることだが、現在の
館山市の具体的な地域の課
題をどう分析しているか。

近隣市との比較などの基礎調
査や、市民アンケート、高校
生アンケート、首都圏在住者
を対象としたウェブアンケー
トを「総合計画審議会」の場
で、その設問の検討から議論
をいただき、集計結果等を報
告したところです。
今年の秋頃を目途として、
その分析結果等をもとに対応
策を検討し、総合計画に位置
付けていきたいと考えていま
す。

◆地方版総合戦略の策定は？
問 館山市として地方版総
合戦略の策定には、どのよう
な取り組みで実現されようと
しているのか。
答 館山市では、平成28年
度から平成37年度までの10年
間を計画期間とした新たな
『総合計画』の策定を行って
おり、「館山版総合戦略」と「人
口ビジョン」について、庁内
における横断的な協議、検討
を進めた上で、市議会議員4
名をはじめとする各界各層の
委員からなる「館山市総合計
画審議会」において審議して
いただき、平成27年度中に合
わせて策定していきます。

◆館山市議会議員研修会
市議会議員を対象に、東北
大学大学院法学研究科教授で
ある宍戸邦久氏を招き、「議
会における政策立案の考え
方」と「住民協働と議会」を
テーマに議員研修会を2月10
日に開催しました。
当日は多数の議員が出席
し、議会における政策立案と
住民協働の方法について熱心
に学びました。

その過程の中で、市民の皆
様に、広く意見や提案を求め
ていきたいと考えています。

議員研修の実施

館山市議会議員研修会

◆会議録の検索・閲覧
3月定例会及び委員会の会
議録は、5月中旬にホーム
ページから検索・閲覧ができ
ます。
また、従来どおりの会議録
も、図書館で閲覧ができます。

市議会を
傍聴しませんか！

本会議の傍聴手続きは、希
望する当日に議会事務局（市
役所本館2階）前で、用紙に

住所、氏名等を記載するだけ
です。（委員会の場合は事前
に連絡をお願いします。）
また、本会議を開いている
時は、インターネットで、本
会議の生中継を配信していま
すので、ご利用ください。（館
山市のホームページからご覧
になれます。）

表紙の写真について

4月26日に行われた市議会
議員の選挙の結果、18人の議
員が新たに選ばれました。
当選された議員は、翌日市
役所内の会議室にて選挙管理
委員会委員長から一人ひとり
当選証書を受領し、にこやか
な笑顔を見せるとともに、地
方分権の進展による行政運営
の変化や市民の意識、価値観
の多様化に的確に対応し、市
民からの負託に応えようと決
意を新たにしています。

編集後記

館山市議会の議員選挙によ
り、新しい議員18名が決まり
ました。
これに伴い、「たてやま議
会だより」の編集も私たちが

◆次定の定例会の予定
●開会日
6月5日(金)午前10時から
●一般質問
6月15日(月)、16日(火)
予備日:17日(水)
各日それぞれ午前10時から
●請願・陳情提出締切:
6月2日(火)正午まで

担当することとなりました。
今回は改選前の議会に関す
るものが中心ですが、館山市
議会では4月から議会基本条
例が施行され、議会の議決に
対する市民への説明責任はま
すます重くなつてきておりま
す。
私も委員はこの責任を深
く認識し、この議会だよりの
他にも、様々な方法で、市政
に対する情報を皆様伝えて
まいりたいと考えております。
(鈴木正一)

* * 議会報編集委員会 * *
(◎委員長 ○副委員長)
◎鈴木 正一 ○石井 敬之
龍崎 滋 石井 信重

議会や議会だよりに関する
ことのご意見、ご質問等は議
会事務局まで電話又はメール
(番号及びアドレスは表紙参
照)でご連絡ください。

平成27年3月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	平成27年度館山市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第2号	平成27年度館山市国民健康保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第3号	平成27年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第4号	平成27年度館山市介護保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第5号	平成27年度館山市下水道事業特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第6号	館山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第7号	館山市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第8号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第9号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第10号	館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第12号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第13号	館山市教育長の勤務時間、休日、休暇及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第14号	館山市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第15号	館山市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市いじめ防止対策推進条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第17号	館山市立こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第18号	館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第19号	館山市心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第20号	館山市看護師等修学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第21号	館山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第22号	館山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第23号	館山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第24号	市道路線の認定について	原案可決 全会一致
議案第25号	安房南部区域農用地総合整備事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第26号	館山市小規模埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第27号	平成26年度館山市一般会計補正予算(第10号)	原案可決 賛成多数
議案第28号	平成26年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決 賛成多数
議案第29号	平成26年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決 賛成多数
議案第30号	平成26年度館山市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 賛成多数
議案第31号	平成26年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 賛成多数
議案第32号	平成26年度館山市一般会計補正予算(第11号)	原案可決 全会一致
議案第33号	館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第34号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第35号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
発議案第1号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
発議案第2号	館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
請願第14号	館山市独自の残土条例を早期に制定することを求める請願	不採択 賛成少数
陳情第20号	慰安婦問題に関する適切な対応を求める意見書の提出を求める陳情書	了承できない

付託委員会 (総務 文教民生 建設経済 予算審査委員会 付託なし)